

# 特許紹介

第24巻第2號 昭和13年2月

## 杭打空氣機

(特許第122563 譲  
(特許権者(明記) 欠部 勝)

此の発明は打槌桿(3)を連結した打槌ピストン(2)を密閉した打槌シリンダー(1)の上に装着した電動機(8)の軸の両端により其の打槌シリンダー(1)の上端部兩側に軸架した偏心軸(9)(9)を夫々回転せしめ、其の回転により打槌シリンダー

-(1)の両側に夫々其の上下両端を介して相連絡せしめて設けた2個の圧縮シリンダー(12)(12)内に於て圧縮ピストン(13)(13)を往復動せしめ、以て前記打槌ピストンを往復動せしめて打錐桿により杭幅(6)を打錐するやうにしたものである(図-1)。兩側に圧縮シリンダーを設けた故に良く平衡を保つて打錐桿により杭幅を偏打することなく、又單に電動機に送電することに依り隨時隨所で簡単に杭打が出来る。

## 軌道車輪用車輪

(特許第122616 譲  
(特許権者 チエルベルジ株式会社)

從來普通の軌道車輪用車輪にあつては軌條に接するタイヤの部分が磨滅した場合は、車輪全体を取替ふる必要があり且つ車輪は材料を多量に要する。此の発明は絞上の缺點を除去する目的を以て考案したもので、即ち數個の輪板(1)(2)(3)…を並設し、一方又は双方の外側輪板(1)を車輪のフランジを形成するやうに他のものよりも径を大にし其の外周部を彎曲せしめ、且輪板を間隔片(5)により相互に離隔ボルト締めし、輪板の1個又は數個を車輪(7)で支持せしめて車輪を形成せしめたものである(図-2)。

図-1.

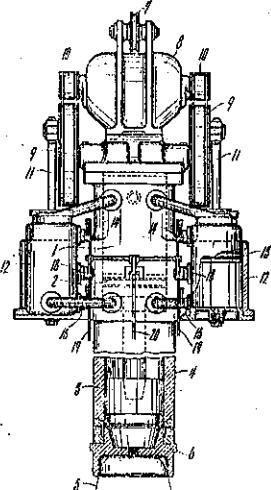
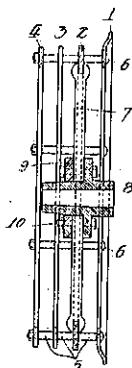


図-2.



## コンクリート管補強筋移動防止装置

(特許第122606 譲  
(特許権者 日本ヒーム管株式会社)

從来鉄筋コンクリート管製造の際縦横の補強筋は重畳の爲、彎曲し又移動し易く特に高速回転の遠心力機を使用して長い管柱を製造する如き場合は鉄筋を一方に偏倚せしめる虞がある。

此の発明は此の點に鑑み改良を施したものであつて、コンクリート其の他適當の材料で作り中心貫通孔を有する短かい円筒状の駒(3)を縦鉄筋又は環状鉄筋それ自身で挿通するか(図-3)又は他の環(5)で挿通し(図-4)、適當間隔を以て之を縦横鉄筋間に配置し、型枠内に於ける鉄筋の位置を正しく限定し、コンクリート内に埋置合体せしめるのである。

図-3.

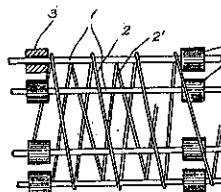
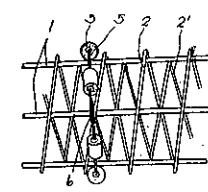


図-4.

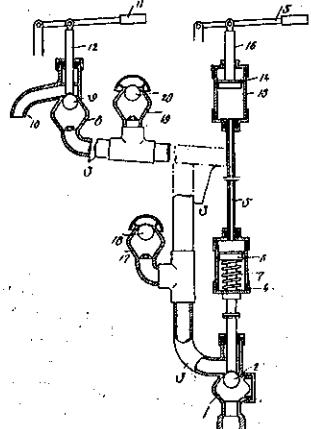


## 不凍給水装置

(特許第122730 譲  
(特許権者(明記) 大根忠次)

此の発明は、地下深く埋設せられた給水主弁(2)を油圧に依り作動せられるピストン(6)に依りて開放せしむるやうにし、多數の異なる場所に共通給水管を経て主弁に連通する吐水弁(9)と、共通の送油管(5)を経て下方ピストン(6)に油を圧送すべき送油ピストン(14)とを並置し、主弁に近く給水管1側に導水管内の水圧力で閉鎖し給水管内の水頭圧で開放すべき自働脱水機構(17)を設けたもので之に依れば1個の給水主弁を多數異なる個所

図-5. 要部縦断正面図



より作動せしめ、而も使用後給水管中の残溜水を充分に排除せしめて凍結を防ぎ得るものである。

図-6. 全体の説明図

